

梅雨前線の活発化に伴い大雨（第7報）

平成18年6月26日 0:30現在

1. 概要

九州北部の雨は小康状態が続いており、直轄河川の警戒水位を超えている観測所は、なくなりました。

今後の降雨の状況を注意しながら、災害対策本部は警戒体制を継続しております。

2. 体制

九州地方整備局災害対策本部は、25日 14:20に非常体制を発令。

九州地方整備局災害対策本部は、25日 16:50に警戒体制に移行。

本部体制	注意	警戒	非常	
発令時刻	3:20	14:00 16:50	14:20	

(事務所体制 非常体制： 0事務所
警戒体制： 7事務所
注意体制： 4事務所)

3. 河川

水系名	河川名	水位観測所	水位(0:30)	指定水位	警戒水位	危険水位
筑後川	筑後川	荒瀬	3.47m ↓	3.40m	5.00m	6.30m
山国川	山国川	上曾木	2.93m →	2.80m	3.80m	—
菊池川	菊池川	広瀬	1.50m ↑	1.50m	2.70m	3.20m

参考：6月26日の潮位（大浦港）
 (干潮) 3:31
 (満潮) 9:10

六角川128km付近（武雄市橘町片白地区）で、田畑の浸水被害あった箇所において、25日19:53よりポンプ車稼働開始。ポンプ車による排水は、23:20に完了し、東川排水機場による排水も26日0:20に完了。

また、床下浸水のあった家屋については、25日19:50に浸水解消。

【問合せ先】

国土交通省 九州地方整備局 災害対策本部
 企画部 企画課 企画課長補佐 重村 健二

電話：092-414-7301（本部直通）

fax：092-481-9210（本部直通）